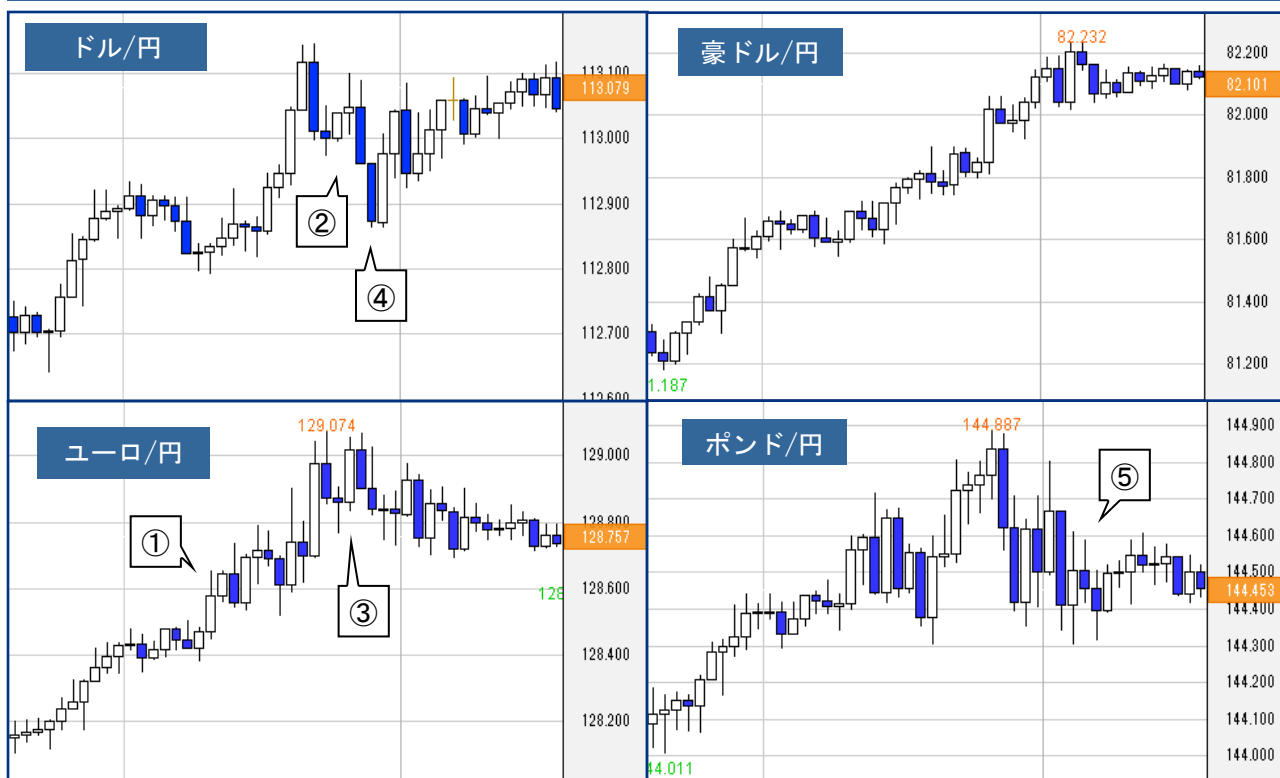


11月22日(木曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

市場は「ロングウィークエンド・モード」に

21日(水)の為替相場



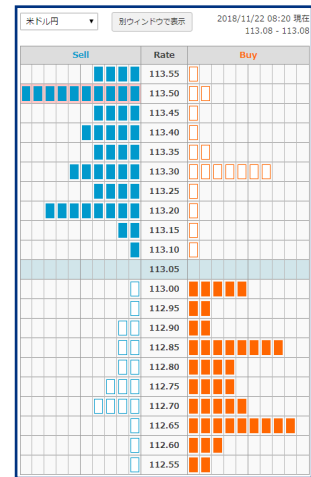
期間: 21日(水)午前7時10分~22日(木)午前6時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所: 外為どっとコム

- ① イタリアの2019年予算案について、同国のサルビーニ副首相が「予算の修正に前向き」と発言したとする一部報道(後にサルビーニ副首相の政党である同盟が否定)が伝わるとユーロが強含む場面があった。
- ② 米金融当局が段階的な金融引き締めについて「小休止を検討しつつあり、来春にも利上げサイクルを終了させる」との一部報道が伝わると一時ドル売りが強まった。
- ③ 欧州連合(EU)の執行機関である欧州委員会が、ユーロ圏の財政規律を順守していないとしてイタリアの予算案を拒否。イタリアに是正措置を求める過剰財政赤字は正手続き(EDP)を勧告した。ただ、規律違反の評価はある程度市場で想定されていたこともあり、ユーロ相場への影響は限定的だった。
- ④ 米10月耐久財受注は前月比-4.4%、米新規失業保険申請件数は22.4万件とともに市場予想(-2.6%、21.5万件)より弱い結果となった。なお、米耐久財受注のうち民間設備投資の先行指標とされるコア資本財(非国防資本財から航空機を除く)は前月比±0.0%と予想(+0.2%)を下回り、前月が下方修正(-0.1%→-0.5%)された。その後発表された米10月中古住宅販売件数は年率換算で522万件と予想(520万件)を上回り、7か月ぶりの増加となった。
- ⑤ EU離脱=Brexitを巡り、メイ英首相とユンケル欧州委員長が会談を行なったものの、最終合意には至らなかったとの報道が伝わった。なお、会談後にメイ氏は「これまで協議してきた課題が一部残っている」として、同会談を24日に再度実施することを明らかにした。

21日(水)の株・債券・商品市場

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
21507.54 ▼75.58	5642.773 ▼29.014	2651.505 △5.651	7050.23 △102.31	11244.17 △177.76
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
24464.69 ▼0.95	0.0950% ▼0.0070	2.688% ▼0.004	1.396% △0.013	0.376% △0.025
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
2.8139% △0.0102	3.0627% ▼0.0001	54.63 △1.20	1228.00 △6.80	

外為注文情報(ドル/円)



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	112.700-113.500	128.200-129.200	81.800-82.500	144.000-145.100

【ドル/円】

昨日のドル/円は113円台を回復。欧米株式市場の持ち直しなどを背景に円売りが優勢となった。もともと、リスク回避のドル買いが活発だった前日の反動から、ドルも弱含みで推移。このためドル/円は、113.10円台を通る20日移動平均線の前後で上値が重くなった。

本日は米国が感謝祭の祝日で、明日は日本が勤労感謝の日で祝日となる。金融市場全体が「ロングウイークエンド・モード」で動意を失う公算が大きい。イタリアの予算案や英国の欧州連合(EU)離脱など欧州政治を巡る問題も、ひとまず目先の材料を消化して次のステップ待ちだ。

ドル/円は、(約1カ月間の終値平均である)20日移動平均前後という値位置から見て、参加者のポジションにシカゴ通貨先物市場が示すほどの大きな偏りは生じていないと推測される。持ち高調整による相場変動も最小限にとどまると見られ、突発的なニュースがなければ20日移動平均線を大きく外れる事なくもみ合う展開となりそうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
11/22(木)	21:30		(ユーロ圏)ECB理事会議事要旨(10月25日分)	—	—
	24:00		(ユーロ圏)11月消費者信頼感・速報値	-2.7	-3.0
	25:30		(ユーロ圏)バイトマン独連銀総裁、クノット・蘭中銀総裁、ピスコ・伊中銀総裁、講演	—	—
	26:00		(ユーロ圏)メルシュECB専務理事、講演	—	—
	29:55		(英)サンダースMPC委員、講演	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2018Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com